

大谷康子 合奏クリニック

令和7年8月15日（金）
千葉県文化会館 大ホール

<出演者プロフィール>

大谷 康子 Yasuko Ohtani



（ホームページ）



（YouTube）

2025年にデビュー50周年。2025年1月には、サントリーホール大ホールにてデビュー50周年記念演奏会を開催。世界初演のヴァイオリン協奏曲「未来への讃歌」を含む意欲的なプログラムで、満員の聴衆を魅了した。5月にはデビュー50周年記念全国ツアー（ピアノ：イタマール・ゴラン/全14公演）を開催。これまでにリサイタルはもとより、N響、モスクワ・フィル、スロヴァキアフィルなど国内外の著名なオーケストラと多数共演。キーウ（キエフ）国立フィルとは2017年以降毎年招聘されている（情勢により中断）。著書に「ヴァイオリニスト 今日走る!」（KADOKAWA）がある。CDも多数リリース。BSテレ東（毎週土曜朝8時）「おんがく交差点」では司会・演奏を務める。

文化庁「芸術祭大賞」受賞。東京音楽大学教授。元東京芸術大学客員教授。元東京芸大ジュニア・アカデミー特別教授。（公財）練馬区文化振興協会理事長。（公社）日本演奏連盟常任理事。

使用楽器は日本音楽財団より貸与のストラディヴァリウス「ロード・ニューランズ」（1702年製）。

【公式YouTube】「大谷康子のやっこチャンネル」演奏動画続々公開中!

千葉県少年少女オーケストラ The Chiba Prefecture Youth Orchestra



1996年に佐治薫子氏を音楽監督に迎え、都道府県レベルでは全国初の少年少女によるオーケストラとして結成され、30年目を迎えた。団員は10歳から20歳までの160名で「よい音で、よい演奏を」をモットーに、土曜・日曜を利用して、県内各地から千葉県文化会館に集まり練習に励んでいる。

演奏活動は定期演奏会、地域演奏会や招待演奏など、県内外で数多く行っているほか、海外での公演も多く、これまでに米国、韓国、ドイツ、ブルガリアで演奏会を行い、好評を博した。また、「にんげんどキュメント」や「どれみふぁワンダーランド」、「題名のない音楽会」などテレビ番組にも多数出演。

2009年、これまでの活動が評価され、団体としては初めて「文化の日千葉県功労者表彰の文化功労」を受賞。

2017年の第21回定期演奏会で、ベートーベンの交響曲第4番を演奏、この4番をもってベートーベンの交響曲全9曲の演奏を果たした。2018年の第22回定期演奏会では下野竜也氏の指揮でブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」を演奏、8月にはドイツのトーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラと交流演奏会を行った。2019年3月には1週間に3公演というスケジュールで、東京公演、題名のない音楽会の公開録画、第23回定期演奏会を井上道義氏の指揮、小曽根真氏のピアノで行った。特に、東京公演では、秋篠宮眞子内親王殿下並びに佳子内親王殿下のご臨席を賜り、サントリーホールにおいて初めての単独公演を行った。2024年3月31日には井上道義氏との最後の共演となった第28回定期演奏会を東京芸術劇場において開催、2025年3月30日に千葉市民会館において第29回定期演奏会を、翌日31日にはサントリホールにおいて東京公演を、それぞれ指揮に下野竜也氏、バイオリンソロにレイ・チェン氏を迎えて開催するなど、益々充実した活動が続けている。

佐治 薫子（音楽監督） Shigeko Saji

1935年木更津市生まれ。1956年千葉大学教育学部音楽科卒業、同年君津市立松丘中学校勤務。リード合奏の指導に情熱を傾け、バッハの音楽を中心に演奏活動をし、「山の中のバッハ」のタイトルで全国放送される。

1966年から船橋市立前原小学校へ転任。リード合奏からオーケストラ音楽への指導に専念。1976年に習志野市立谷津小学校へ転任し、1984年から市川市立鬼高小学校へ転任した。最後の4年間は再び谷津小学校で過ごし、1996年退職。教職40年間にわたる音楽教育に情熱を傾け、その間40数回も子ども達を全国優勝に導いている。在職中テレビ・ラジオ出演も多数。また、サントリーホールやNHKホール、東京文化会館大ホール、中新田バッハホール、カザルスホール等での招待演奏、さらにニュージーランド演奏旅行等も経験している。

退職後1996年4月1日からは、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督に就任した。2006年4月放映のNHK「にんげんドキュメント ～がんこ先生とぼくらのハーモニー～」では、音楽に情熱を傾ける姿が反響を呼び、2009年10月に再放映された。2007年2月には千葉テレビ「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」に単独出演（2010年3月1日に再放映）、また2009年9月には、NHK-BS2の「どれみふぁワンダーランド」の「匠の技」コーナーにおいてその指導法が紹介されるなど、テレビ・ラジオにも出演している。



公益財団法人日本音楽財団 Nippon Music Foundation

日本音楽財団は、1974年に日本国内の音楽文化の振興と普及を目的として設立され、創立20年を迎えた1994年からは、西洋クラシック音楽を通じた国際貢献を目的として弦楽器名器の貸与事業を行っている。

保有する世界最高クラスの弦楽器21挺（ストラディヴァリウス・ヴァイオリン15挺、チェロ3挺、ヴィオラ1挺、ガルネリ・デル・ジェズ・ヴァイオリン2挺）を若手有望演奏家や世界で活躍する演奏家に国籍を問わず無償で貸与し、同時に、これら世界の文化遺産ともいわれる名器を次世代に継承するための保守・保全を行っている。また、楽器被貸与者による演奏会を日本国内外で開催し、名器の音色に触れる機会を提供している。

日本音楽財団の事業は、日本財団の全面的な支援により実施されている。

～ 大谷康子 ヴァイオリンリサイタル ～

8/16（土）14:00開演 千葉県文化会館 大ホール

8/17（日）14:00開演 千葉県東総文化会館 大ホール

ヴァイオリン：大谷 康子

ピアノ：平塚 太一